

## 令和3年度 事業並びに活動報告

### 1. 教育に関する事項

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ① 日本助産師学会        | ② 日本助産師会南北関東地区研修会   |
| ③ 母子保健家族計画全国大会   | ④ 日本助産学会・学術集会       |
| ⑤ 日本家族計画協会研修会    | ⑥ 日本母性衛生学会・学術集会     |
| ⑦ 静岡県母性衛生学会・学術集会 | ⑧ 静岡県助産師会研修会        |
| ⑨ 浜松市助産師会研修会     | ⑩ 母乳育児セミナー          |
| ⑪ 母子保健セミナー       | ⑫ 母子継続看護連絡会         |
| ⑬ 浜松市医療安全研修会（中止） | ⑭ 看護師・助産師養成学校への講師派遣 |
| ⑮ せいれい看護学会       |                     |

### 2. 運営に関する事項

- ① 浜松市助産師会 役員会・幹事会
- ② 静岡県助産師会 役員会・理事会
- ③ 日本助産師会通常総会・静岡県助産師会通常総会・浜松市助産師会通常総会
- ④ 専門部会・委員会の活動
- ⑤ 行政委託事業・個人別雇い上げ事業打ち合わせ
- ⑥ 浜松市母子保健推進会議
- ⑦ 要保護児童対策地域協議会
- ⑧ 自殺未遂者支援体制検討会
- ⑨ 助産師業務拡大に向けてのPR活動

### 3. その他の事項

- ① 浜松市助産師会主催事業
- ② 行政委託事業
- ③ 個人別雇い上げ事業
- ④ 依頼による講座・相談事業
- ⑤ 湖西市消防隊員との分娩取り扱いに関する勉強会
- ⑥ ふじのくに未来財団 静岡トヨタ自動車「ハイブリッド基金」助成金事業

#### ●令和3年度 役員会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・幹事会の準備・総会の準備

- 第1回 令和3年 6月30日
- 第2回 令和3年 11月 1日
- 第3回 令和4年 3月26日
- 第4回 令和4年 4月14日

#### ●令和3年度 幹事会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・その他

- 第1回 令和3年 7月 7日
- 第2回 令和3年 11月 22日
- 第3回 令和4年 3月31日

## 令和3年度 会務並びに庶務報告

### 令和3年

4月 5日	浜松市立看護専門学校入学式 電報	役員
4月 7日	ラジオ出演 浜松市助産師会 PR	齋藤
4月24日	第121回 浜松市助産師会通常総会資料の準備	役員
5月 1日	第121回 浜松市助産師会通常総会*1	役員
6月27日	生理の貧困を考えるイベント(あいホール)	齋藤、宇田、高洲
6月28日	一日児童相談所所長	齋藤
7月 8日	第1回 浜松市母子保健推進会議*1	齋藤、神崎
7月29日	第1回 こども館運営委員会	齋藤
8月23日	第1回 自殺未遂者支援体制検討会*2	齋藤、森本
9月	浜松市助産師会 PR 展示(あいホールにて1か月)	役員
9月10日	第1回 要保護児童対策協議会代表者会議(紙面にて) 「オンライン相談」中日新聞掲載	齋藤
10月 7日	第2回 自殺未遂者支援体制検討会*2	齋藤、森本
10月 9日	「リプロダクティブヘルス&ライツ講座 私のカラダとの付き合い方」講演	齋藤(講演) 宇田、小川(出席)
11月21日	「生を見つめた性教育」(発展編②)ー中学生と高校生に焦点をあててー渡曾睦子先生勉強会*1	会員
11月27日	はままつジェンダーラボ3 「メディアとジェンダー」 ～身の回りにある情報からジェンダーを考える～	宇田、小川
12月1,2日	湖西市消防隊員との分娩取り扱いに関する勉強会	役員、災害対策委員、金田

### 令和4年

1月 6日	年頭挨拶まわり(市長、健康福祉部部長、健康増進課、子育て支援課)	役員
2月16日	令和3年度健康はままつ21推進会議*2	宇田
2月17日	第2回 浜松市母子保健推進会議*1	齋藤、神崎
2月24日	第1回 母子包括支援ネットワーク会議	齋藤
3月 8日	浜松子ども支援NET オンライン交流会	齋藤、高洲
3月16日	第2回 要保護児童対策協議会代表者会議*2	齋藤
3月29日	第2回 浜松こども館運営委員会	齋藤

\*1:ハイブリッド会議 \*2:オンライン会議

通 年	浜助・お知らせ作成、送信	小川
	各表彰者推薦書提出	齋藤
	浜松市健康増進課 委託事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市子育て支援課 委託事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市各区地域支援連絡会出席	齋藤 他

### ●受賞関係

令和3年度表彰

・厚生労働大臣表彰	齋藤 由美 様
・公益社団法人 日本助産師会会長表彰	高洲 昌子 様
・社会福祉法人恩賜財団 母子愛育会会長表彰	宇田 公美子 様
・公益社団法人 母子保健推進会議会長表彰	小川 さゆり 様
・一般社団法人 日本家族計画協会会長表彰	波多野 美奈子 様

### ●入会・退会者（敬称略）

入会者 令和3年度 楠木 みち子、杉山 祐子、竹村 民千佳

令和4年度 大石 理加、豊田 登美子、山下 豊子

退会者 令和3年度 大石 いづみ、岡本 愛、君島 裕子、楠木 みち子、  
葛綿 優子、米山 みち子

会員数 77名（令和4年4月1日現在）

助産所部会 4名

勤務助産師部会 27名

保健指導部会 46名

## 令和3年度 助産所部会 活動報告

部会長 高林 香代子  
副部会長 高橋 明美

### I. 活動内容

1. 勤務助産師部会と合同で研修会を企画運営した。
2. 有床助産所としての防災対策を市内の各助産院と検討中。  
浜松市及び静岡県が災害発生時に有床助産所に対してどのような期待をしているのか、またどのような具体的支援要請があるのか情報収集が必要と考えている。

## 令和3年度 勤務助産師部会 活動報告

部会長 岡本 愛  
副部会長 杉山 真理

### I. 活動内容

1. 助産所部会との合同研修を実施（オンライン開催）  
「未来につなぐ子どものケア：飲めるベビーと飲めないベビー  
～新生児の授乳における口腔評価とケア方法～」  
開催日時：令和3年 9月4日 13:30～15:30  
講師： 助産院大地 山口香苗さん
2. 勤務助産師部会会員交流会  
勤務助産師部会内での会員間の交流の希望があり、月一回でオンライン交流会を企画したが、毎回参加者がいなかったため、上半期で終了した。

「合同研修会後」および「勤務助産師部会ライングループ」（勤務助産師部会会員の意見を抽出して部会活動に反映できることを期待して作成し、昨年度から運用中）の両方のアンケートで、開業助産師との交流会や勉強会をもちたいという希望があったため、来年度は考慮していく。

# 令和3年度 保健指導部会 活動報告

部会長 木下 光代

副部会長 濱角 由美子

## I. 活動内容

### 1. 浜松市との会議・活動

- (1) 母子訪問事業（健康増進課・各区健康づくり課）
- (2) 「子育て支援ひろば」における妊婦支援事業（子育て支援課）
- (3) 母子継続看護連絡会（オンライン開催）

### 2. 研修会参加

- (1) 令和3年度浜松市医療安全研修会(令和4年3月4日)  
→新型コロナウイルス感染拡大により中止
- (2) 幼児保育・発達に関する勉強会（ながかみ保育園）  
令和3年5月21日、7月16日、9月17日、11月19日、  
令和4年1月21日

### 3. 保健指導部会活動

- (1) 保健指導部会（オンライン開催）  
令和3年5月1日、7月2日、12月23日
- (2) プレママひろば（3回継続参加型）  
令和3年9月2日、10月5日、令和4年3月8日
- (3) 浜松市助産師会ケアパンフレット（助産師のケアを受けてみませんか？）発行  
令和4年3月下旬

### 4. 静岡県助産師会活動

- (1) 保健指導部会（オンライン開催）  
令和3年8月27日、11月26日、令和4年2月4日、2月19日

### 5. 教育活動

- (1) 聖隷クリストファー大学 助産学専攻科 母子訪問実習指導
- (2) 聖隷クリストファー大学 看護学部 母性看護学講義依頼

## 令和3年度 推薦委員 活動報告

推薦委員 中道 梓  
小杉 美佳  
西村 奈々

### I. 活動内容

令和4年度浜松市助産師会通常総会における役員改選のための準備

令和3年 11月	候補者選出のための推薦委員話し合い
同 11月～12月	候補者への依頼、調整 候補者の決定
令和4年 2月	推薦状の発送 書面選挙のための書類作成、発送準備
同 3月	選挙書類発送
同 4月30日	選挙管理委員会開催にて開票 総会にて投票結果報告 役員決定

## 令和3年度 会則委員 活動報告

会則委員 君島 裕子  
三室 静香  
押川 浩美

令和3年度は、会則の検討事項がないため活動をしていない。

## 令和3年度 教育委員 活動報告

保健指導部会教育委員 大石 恵美子

勤務助産師部会教育委員 成岡 千恵子

### I. 活動内容

#### 1. 研修会

テーマ：「生を見つめた性教育」（発展編②）—中学生と高校生に焦点をあてて—

目的：思春期の子どもたちを取り巻く環境が複雑で多様化しているなか、「性の視点」だけではなく「生を含めた視点」から改めて性教育の在り方を見つめなおすことで、現代に必要な性教育とは何かを考え、子どもたち一人ひとりが命の尊さを感じ、自分のことも相手のことも大切にしながら、心も体も健康に生きられるための支援につなげていく。

日時：令和3年11月21日（日） 10：00～16：00

場所：浜松市立看護専門学校およびオンラインによるハイブリッド開催

講師：渡曾睦子先生（東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 教授）

内容：1）性の課題の背景にあるもの  
2）実際の中学・高校生の教育  
3）自分の職種として行ってみたい教育について（グループワーク）

参加者：56名

会員29名 非会員27名

（助産師46名、保健師2名、看護師2名、看護教員4名、子育て支援員1名、学生1名）

参加者の評価：大変良かった41名 良かった2名（アンケート回収率76.7%）

参加者の感想、意見：

- ・性教育は体の事だけでなく心を育むこと、自分の人生を豊かに育むために必要な教育であることが分かった。性教育は生教育だと改めて実感しました。
- ・どの年代にも生きるために必要なことであり、いつどのように関わられるのか考えさせられた。
- ・人間の一生の中で助産師としてまだまだ関われ事もたくさんあると感じた。
- ・分かりやすく、こんな感じで伝えられたら相手に伝わるかなとイメージできる講義でした。
- ・これからの思春期講座に活かしていきたいです。
- ・アプローチの仕方や指導している内容の根拠が明確になった。
- ・思春期の関わり方、それぞれの発達段階に応じてのアプローチが必要。そのためにはママ達への働きかけが大切だと思いました。地域、行政はリスクのある事例、そうでないものは家庭の中で意識をもって子どもたちと関わると良いなと思いました。
- ・学習指導要領で性教育に関する部分を国際基準に合わせていきたい。
- ・最後のディスカッションや先生からのご助言で、今後の活動を考える機会になりました。

### II. 活動評価

本研修は「性教育」をテーマにした計3回の継続研修の最終回である。今年度もコロナ禍であったが、感染拡大が比較的落ち着いている時期の開催であったため、対面とオンラインによるハイブリッド開催とした。初めてのハイブリッド開催であったが大きなトラブルなく終了でき、受講者からも自分に合った受講方法が選べるので良いと好評であった。また、グループワークでは、会場、オンラインそれぞれで活発な意見交換を行った後、全体での共有もでき、大変有意義な意見交換の機会となった。次年度も引き続き、受講者のニーズに沿った内容の研修を計画していきたい。

# 令和3年度 災害対策委員 活動報告

災害対策委員 押川 浩美  
波多野 美奈子

## I. 活動報告

### 1. 日本助産師会員の安否確認訓練

日時：令和3年12月21日(火)

内容：「震度6の地震発生」の想定で7:00から72時間、メール、LINE、電話で実施。

59時間53分で全会員の安否確認が完了。静岡県助産師会に報告した。

勤務形態により連絡がつきにくい場合もあったが、他の会員からの情報により確認作業がスムーズに進んだ。今後もより良い安否確認方法を検討していきたい。

### 2. 湖西市消防隊員との分娩取り扱いに関する勉強会

日時：令和3年12月1、2日(水、木)

内容：出産介助訓練の講師として、役員、災害対策委員、金田(湖西市在住)が参加

### 3. 災害時拠点助産所運営に関する話し合い

日時：令和3年7月17日(土)

会場：浜名協働センター講座室

参加者：拠点助産所、災害対策委員

拠点助産所の目的を明確にするため、浜松市との協定内容を再確認し、災害時拠点助産所の役割について意見交換した。

### 4. 災害対策ミニ勉強会(オンライン開催)

災害に関する知識や技術を会員間で共有し、高め合っていきたいと考えてミニ勉強会を計画し、実施した。

第1回 日時：令和3年10月16日(土)

テーマ：自助の備えを考える

第2回 日時：令和3年12月11日(土)

テーマ：静岡県助産師会災害対策勉強会の伝達、自助の備えを考えるパート2



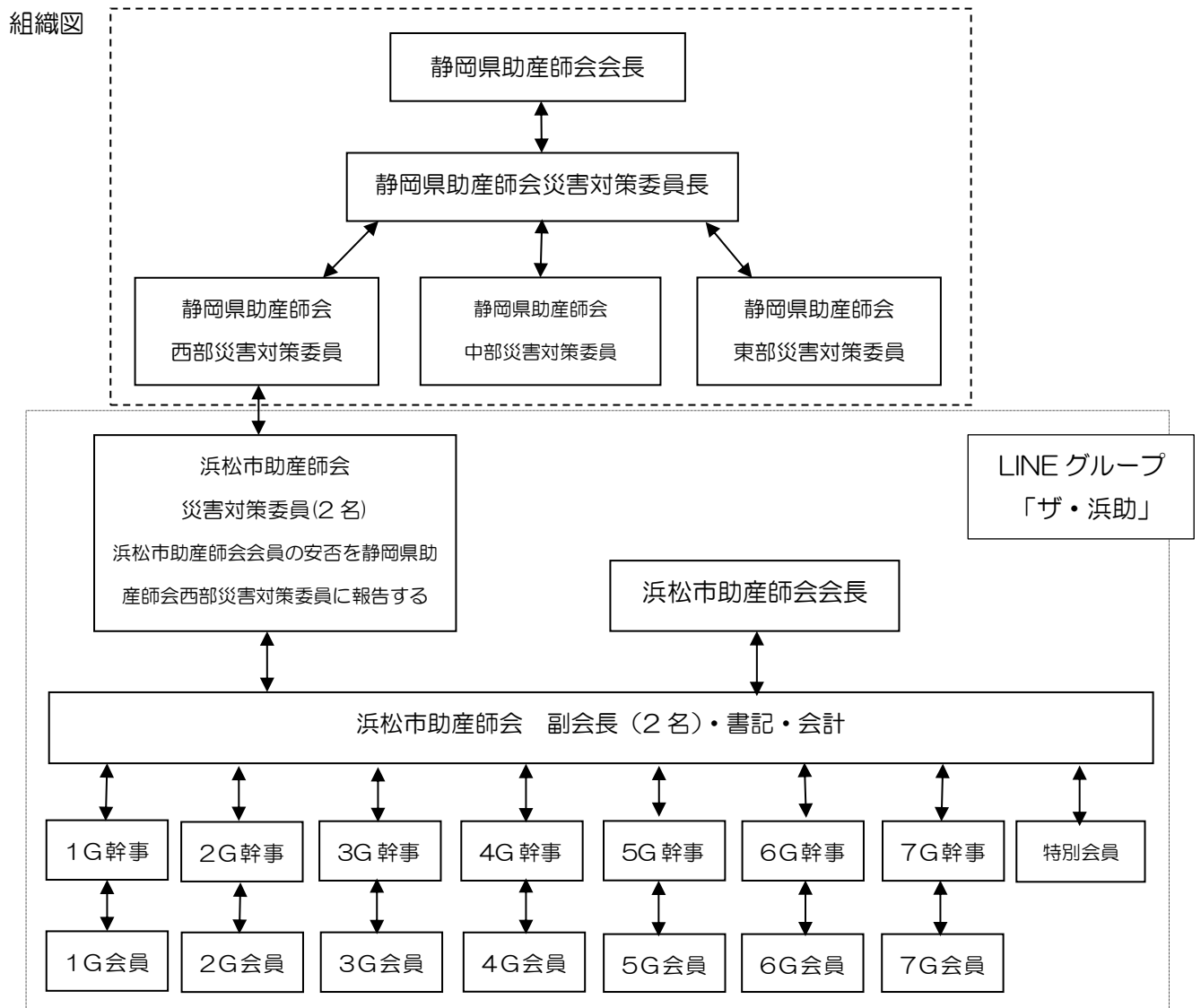
# 浜松市助産師会 災害対策マニュアル 震度5強以上

## ※大原則

- その状況に合わせて、自分で考え、行動する
- 大災害時、3日間は自力で生き抜く
- 災害時における「情報」の重要性を認識する

## 1. 大地震発生後の安否確認

会員とその家族の安否確認のため、下記の連絡組織図に従って連絡を取り合い、確認する会員は、幹事への連絡に加えて、LINE グループ「ザ・浜助」も利用し、互いの安否確認を行う



## 2. 大地震発生時とその後の対処

- 1) 自分と家族の安全を守る
- 2) 自分のできる範囲内で地域（自治会など）での防災活動に参加する
- 3) 勤務助産師部会は、勤務先のマニュアルに準ずる
- 4) 電話、LINE などの連絡方法もとり、互いに協力しあえるよう情報交換を行う

## 令和3年度 出前講座 事業報告

### I. 活動内容

1. オンライン会議      日時：令和3年6月28日（月）19：30～21：00  
 内容：出雲殿互助会からの寄付金に対する要望について

### 2. 講座

幼稚園 6園 9講座

日時	学校名	対象
6/25	あゆみの森こども園※1	年長 25名と保護者
9/27	駅南幼稚園	年少～年長各 1講座 195名
1/8	順愛こども園	年長 23名と保護者
1/12	北庄内幼稚園※1	年長 16名と保護者
1/14	有玉幼稚園※1	年長 10名と保護者
1/24	豊岡幼稚園※1	年長 23名と保護者 2講座

小学校 6校 10講座

9/27	都田小	3年生 19名
11/8	金指小	6年生 5名
11/15	金指小	2年生 9名 4年生 10名
11/27	都田南	4年生 67名
1/13	富塚西小	4年生 73名
1/18	入野小	4年生 75名
2/21	都田小	6年生 12名
3/4	和田小	4年生 108名 2講座

保護者 1校 1講座

6/16	竜洋学府	教員、保護者 20名
------	------	------------

※1：ひかりライオンズ委託事業

※2：浜松市思春期教室

中学校 14校 24講座

日時	学校名	対象
6/25	富塚中※2	2、3年生 320名
6/29	北部中※2	2、3年生 270名
7/2	篠原中※2	2年生 130名
7/7	積志中分校※2	生徒 教員 30名
7/13	開誠館中※2	2、3年生 149名
7/16	笠井中※2	2、3年生 300名
9/10	浜松学院中※2	2年生 40名
11/12	入野中※2	2、3年生 456名
11/26	丸塚中	3年生 222名
12/3	八幡中※2	2、3年生 294名
12/6	聴覚支援学校※2	全学年 12名
12/15	竜洋中	2年生 172名
3/7	竜洋中	3年生 170名 男女別
3/7	丸塚中	3年生 女子 117名
3/8	八幡中	3年生 134名 男女別
3/8	向陽中	2年生 75名 3年生 170名 男女別
3/10	与進中	3年生 228名 男女別
3/11	篠原中	3年生 128名 男女別

### II. 総括

- ・小学校から高評価を頂いており、同じ学校から毎年依頼を受けている。
- ・新規の依頼を受けるために、出雲殿互助会からの寄付金を学校への補助金として活用することとしたが、コロナ感染のため今年度は実施することが出来なかった。来年度実施することとする。
- ・コロナ感染拡大のために、幼稚園2園、小学校1校が中止になった。
- ・浜松市から思春期教室の依頼が10校に増えた。医師と違った助産師の視点からの命の大切さや思春期教育などが評価されたのが要因であると考えられる。
- ・卒業前の中学3年生への講座も定着しつつある。今後も出前講座を皆様に認知してもらうために、ブログでの活動報告を充実させたい。

## 令和3年度 プレママひろば 事業報告

### I. 活動内容

#### 1. プログラムと参加者

講座：13：30～16：00

(第1回目は新型コロナウイルス感染対策として時間短縮と参加人数の制限を行った)

場所：東部保健福祉センター2階

申し込み人数：17名

日程	内容	参加人数
第1回(マタニティ編) 令和3年9月2日	お産の話&エクササイズ おしゃべりタイム	妊婦12名
第2回(マタニティ編) 令和3年10月5日	知っておきたい おっぱいと赤ちゃんのはなし 先輩ママからのエール おしゃべりタイム	妊婦14名 母子(昨年度参加者)7組
第3回(親子同窓会) 令和4年3月8日	ベビーマッサージ 助産師からのメッセージ おしゃべりタイム	母子参加13組

#### 2. アンケート結果(プレママ)

##### 第1回(回答率50%)

講座内容において満足及びやや満足：100%

講座を受講して自分自身に変化があった：100%

感想：出産に向けてのイメージが付いた。ママ友が出来たことが嬉しかった。  
時間短縮が残念だった。もっと話がしたかった。

##### 第2回(回答率57%)

講座内容において満足及びやや満足：75%、普通 25%

「先輩ママからのエール」に関しては満足及びやや満足：100%

講座を受講して自分自身に変化があった：100%

感想：先輩ママからのエールをもっと聞きたかった。

(先輩ママアンケート)

昨年、妊娠中に受講したこの講座は役に立ちましたか？

妊娠中・出産において・育児において 役に立った：100%

##### 第3回(回答率85%)

講座内容において満足及びやや満足：100%

妊娠中に受けた講座内容は役に立ったか？

役に立った95%、何とも言えない5%

感想：ママ友と話したかったので、開催してくれて嬉しかった。

#### 3. 事業を終えて

- 新型コロナウイルス感染対策に留意して、参加者の方への事前・来所時の体調確認を実施し、また、会場の環境整備等を臨機応変に行った。
- アンケート結果から、継続型講座の意義を感じる事ができた。今年度は感染対策を考慮しメールにてアンケート集計を行ったが、回答率が半数強と少なかったのが残念である。今後の集計率を上げる為の方法を模索中。
- 今年度も、周知や会場使用について行政の協力があり非常に助かった。

## 令和3年度 オンライン相談 事業報告

### I. 活動内容

1. 活動期間：令和3年10月～令和4年3月  
     金曜日：19：30～、20：30～  
     土曜日：13：00～、14：00～  
     一枠30分ずつ
2. 活動方法：Zoom を使用して、助産師一人で相談者に対応

### II. 活動結果

1. 相談件数：26件
2. アンケート結果

オンライン相談を利用した感想について：

- ・相談したかったことが聞けた
  - ・画面越しで話しやすかった
  - ・応対やアドバイスに安心できた
  - ・コロナ禍が終息しても、このような相談方法は今後も必要だと思う
- 以上、それぞれの項目で「できた」「そう思う」と100%の回答を得た。

自由回答：

- ・オンライン相談を利用することで、心配事や疑問点が解決して良かったです。また、利用したいと思いました。ありがとうございました。
- ・とっても明るく親切的な助産師さんで、大変勉強になった。たくさん相談してしまい、時間がおしてしまったのにもかかわらず、親身に話を聞いてくれて嬉しかったです。また相談させていただきたいです。このような機会があって、やってみて本当によかったと思いました。
- ・初めて話す方でしたがとても話しやすく、リラックスして相談できました。夜に相談できるのはとても良いと思いました。
- ・モヤモヤしていた不安を解消できてホッとした。外出しなくても相談できるというのが心強い。顔が見えたことで話しやすかった。

### 3. 事業を終えて

利用者へのアンケート結果から、事業が高評価を得たことがわかった。  
 次年度も活動を継続していきたい。

令和3年度事業別会計報告				(単位：円)
	収入	収入内訳	支出	支出内訳
助産所部会	17,500	非会員研修会参加費	15,000	講師謝礼
勤務助産師部会				
保健指導部会	0		840	事務費
推薦委員会	0		9,326	事務費、郵送費
会則委員会	0		0	
教育委員会	79,000	非会員研修会参加費	101,060	講師謝礼、昼食代
災害対策委員会	0		600	会場費
命の出前講座	29,000	事業収入	7,266	教材費、通信費
プレママひろば	0		90,000	保険代、講師謝礼
助成金事業	318,100	ふじのくに未来財団助成事業	79,530	自己負担金
寄付金事業	1,031,250	出雲殿互助会 他	233,516	胎児模型、チラシ印刷、講師謝礼